

森羅万象への畏敬の念を描いた葛飾北斎の魂に捧ぐ



作・演出・舞 那須シズノ



那須シズノ

地球、そして宇宙・・・森羅万象への畏敬の念を描いた北斎の魂は、
透明な愛と感謝の光として、いまも降り注いでいます。

その光に包まれたわたしは、舞台「火と水の結・光」を創り、
それを舞い、踊り、北斎の魂に捧げます。

信州小布施 北斎の肉筆画から閃いた舞台

「北斎光臨 火と水の結・光」

水乃章 『男浪・女浪』いのちの根源 水の舞

火乃章 『龍図』 いのちの祝祭 龍神の舞

光乃章 『八方睨み鳳凰図』無限の愛と感謝の光 凤凰の舞

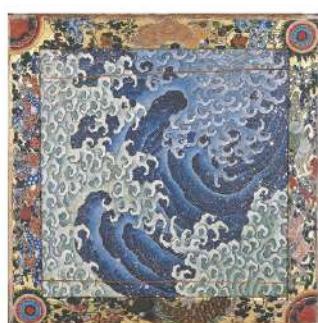
いのちの始まり。渦巻く水は、火と溶け合って、龍神が生まれ出る。

龍神は地球のいのちを祝い、祭りながら大空を舞う。

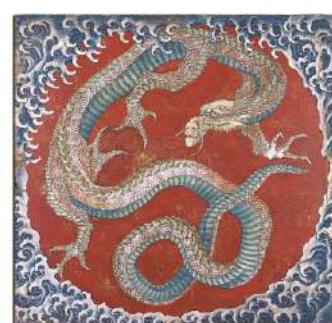
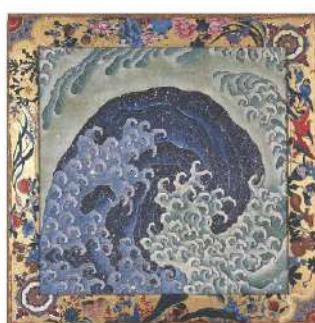
龍神はやがて、天と地を結ぶ鳳凰になって宇宙を舞う。

鳳凰は無限の愛と感謝の光として宇宙を包んでいく。

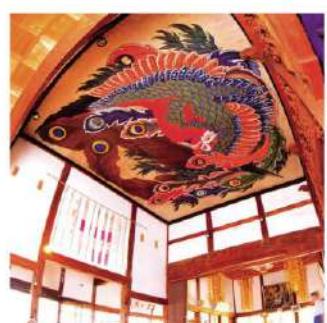
その光は北斎の魂。その光は、すべてのいのちの、永遠の輝き。



『男浪・女浪』(小布施町上町祭屋台天井絵)



『龍図』(小布施町東町祭屋台天井絵)



『八方睨み鳳凰図』(岩松院天井絵)



『楽しむために生まれてきた』著者
(株)ヘルスマート代表
井上 悟

講師 井上悟からあなたへ

私たちは何のために、いま、こうして生きているのでしょうか？
あなたは楽しむために生まれてきました。

あなたは、いまを楽しんでいますか？

もし楽しんでいないなら、あなたは「偽りの自分」を生きてています。

私たち人間の本質は、光の存在である魂です。

光り輝く自分を表現することです。

本物の自分を生きるとは「魂で生きる」ということです。

この講話と舞の祝祭は、

あなたにとって最高の気づきとなるでしょう。